

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和1年12月26日

計画の名称	大野市都市公園安全・安心対策事業計画（防災・安全）											
計画の期間	平成27年度～平成29年度（3年間）				交付対象	大野市						
計画の目標	老朽化が著しい施設を計画的に更新することにより安全・安心な環境整備を図る。											
計画の成果目標（定量的指標）	施設の老朽化が著しく対策が必要な公園（21公園）について計画的に施設の更新を行う。H27の0公園からH29末には21公園の更新を行う。											
定量的指標の定義及び算定式	対策が必要な公園において、更新作業を実施した公園数を算出する								定量的指標の現況値及び目標値		備考	
									当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)		最終目標値 (H29末)
									0% (0公園)	57% (12公園)		100% (21公園)
全体事業費	合計 (A+B+C)	87.4百万円	A	87.4百万円	B	0百万円	C	0.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大野市産経建設部建設整備課内において実施	事業完了後
	公表の方法
	市のホームページ上に掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
A1-1	公園	一般	大野市	直接	大野市	大野市都市公園安全・安心対策事業	遊戯、園路、便益施設等の更新 21公園	大野市						87.4	
合計												87.4			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31			
合計													0.0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 老朽化した施設を更新し、市民が安全で安心して利活用できる都市環境が実現できた。

II 定量的指標の達成状況	施設の老朽化が著しく対策が必要な公園(21公園)について計画的に施設の更新を行う。	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	老朽化した都市公園の施設を計画的に更新したが、事業実施中に1公園において他事業で公園改築計画が立ち上がり、本事業で計画していた施設の更新を見送ったため、目標値には至らなかった。
		最終実績値	95%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

今後も都市公園施設を適切に管理し、公園施設の長寿命化を図る。